

わかりやすい 藤沢市の財政

2017

平成29年度予算と平成27年度決算から
藤沢市の財政状況を見てみよう



「キュンとするまち。藤沢」
公式マスコットキャラクター
ふじキュン♡

藤沢市の財政状況を
わかりやすく
解説しました。

藤 沢 市



- もくじ
- 1 みんながわかる財政のはなし(入門編)… 1
 - 2 もっと知りたいあなたに
●2 平成29年度予算を見てみよう …… 7
 - 3 平成27年度決算を見てみよう …… 12
 - 4 藤沢市の借金はどうなっているの?… 17
 - 5 藤沢市の貯金はどれくらい?… 21
 - 6 これから先の藤沢市の財政は?… 22
 - 7 財務書類4表でわかる藤沢市の財政状況… 23
 - 藤沢市の借金時計… 裏表紙

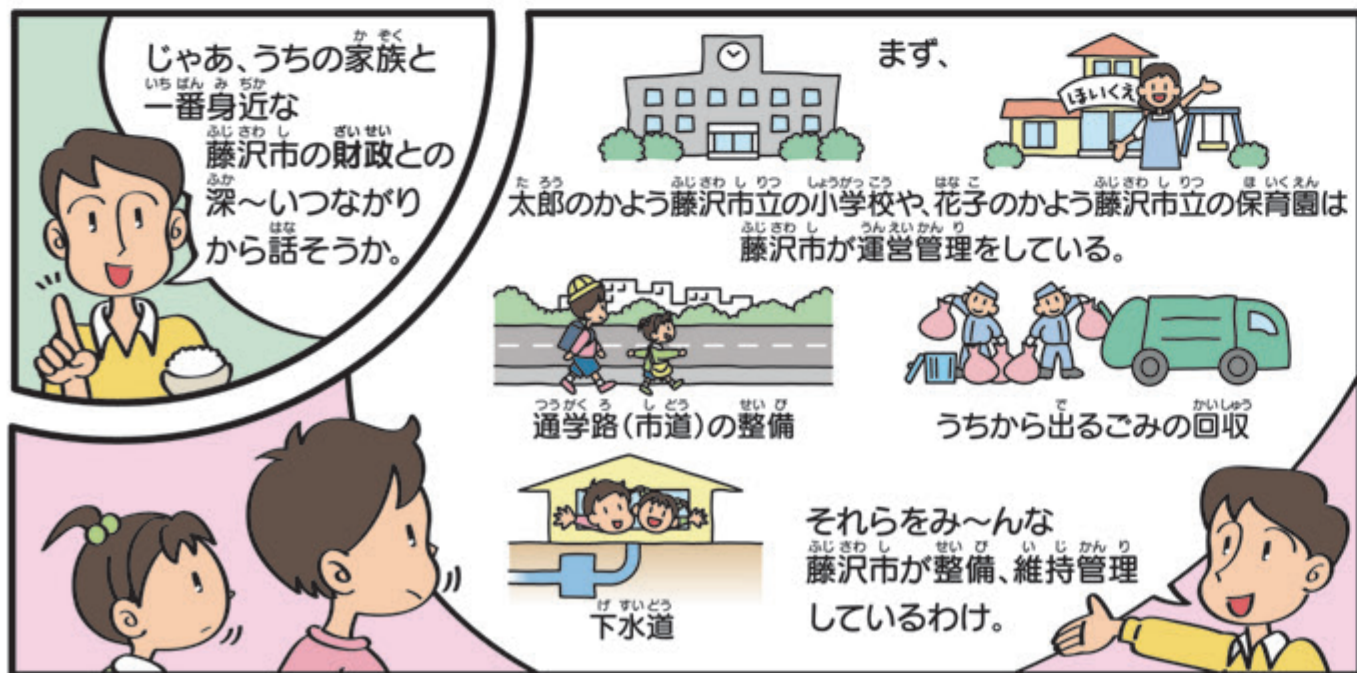
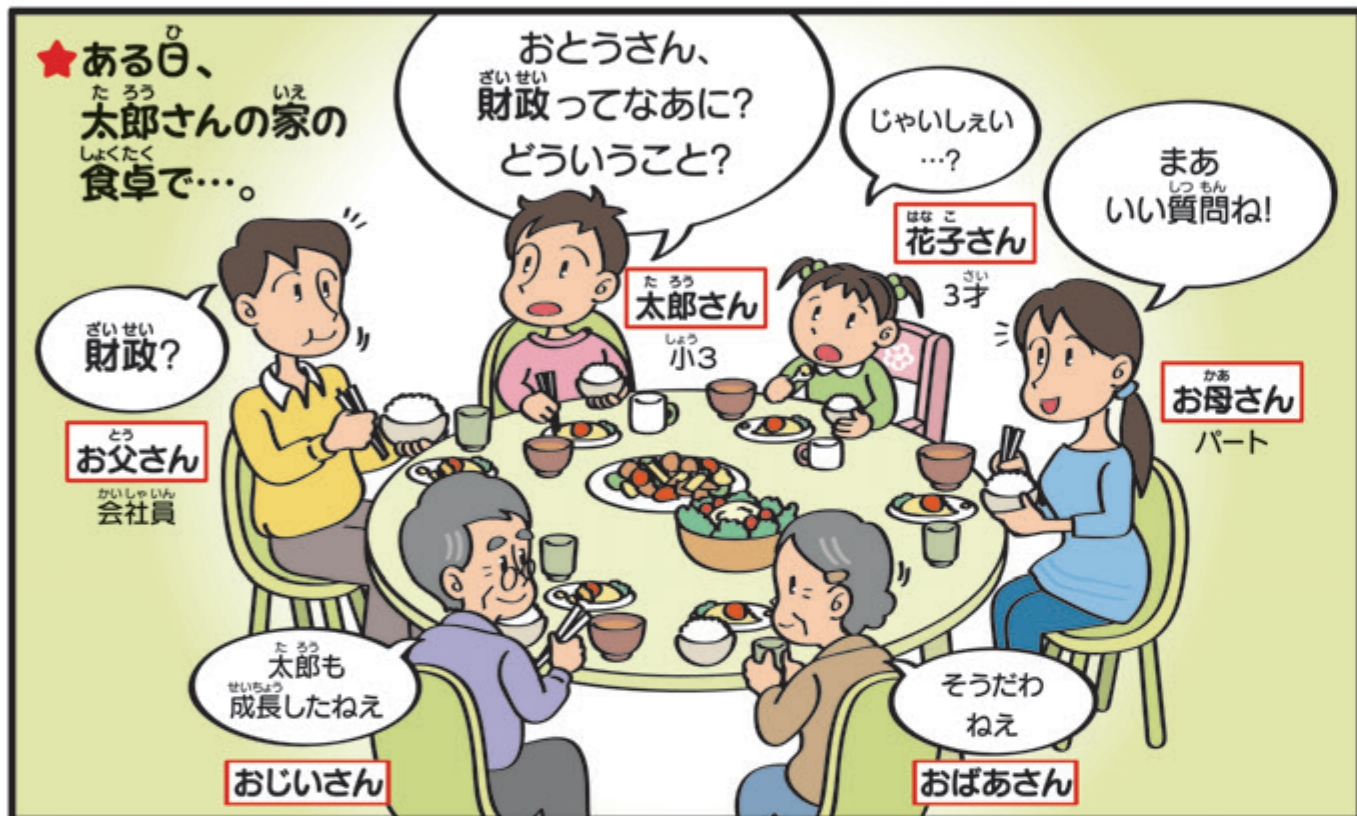
1

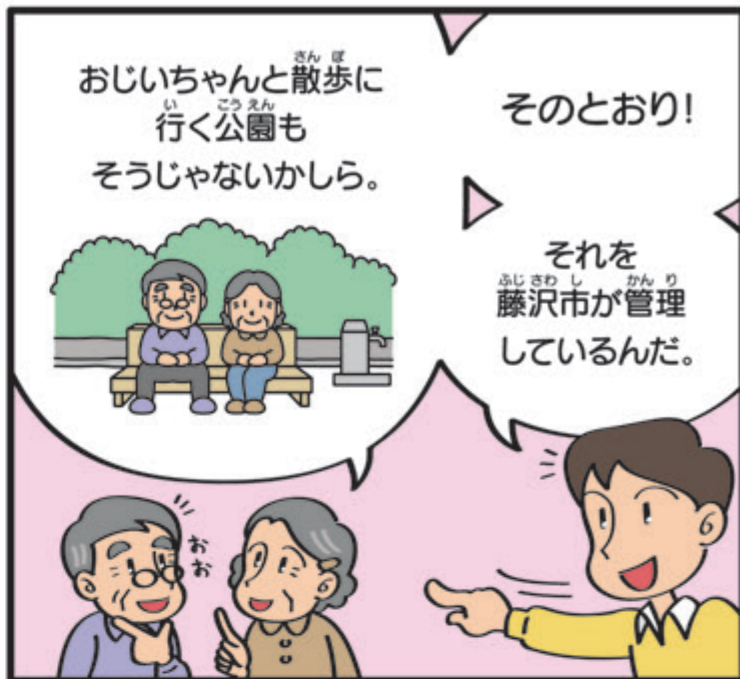
みんながわかる財政のはなし

入門編

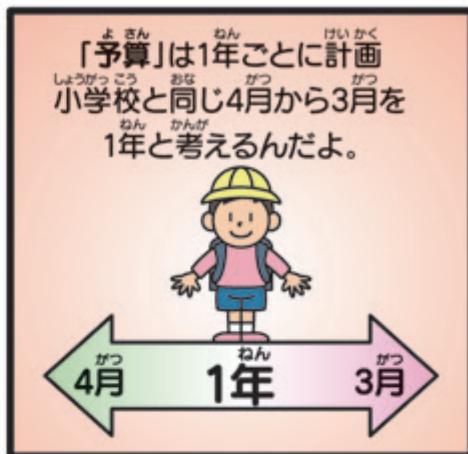
みなさんは「財政」ということばを聞いたことがありますか？ 藤沢市の「財政」はみなさんの生活と密接に関係しているといえます。ここでは、主人公 藤沢太郎さん(小学3年生)と太郎さんの家族の生活をとおして、藤沢市の「財政」がどういうものかをみてみます。

1 「財政」ってどういうこと？





2 「予算」ってどうやって決めるの？



ここで問題です!



Q1. 神奈川県には、横浜市や川崎市などの大都市も
言めて19の市がありますが、
藤沢市の「一般会計」の「予算」の額の多さは
19市のうち何番目でしょうか？

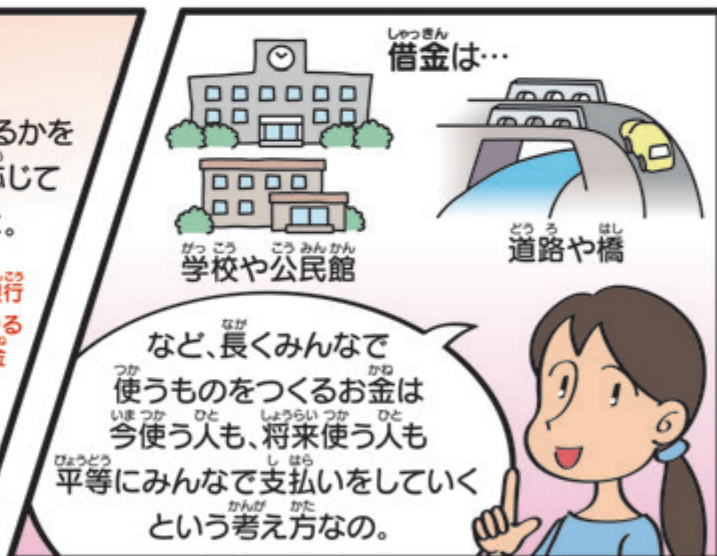
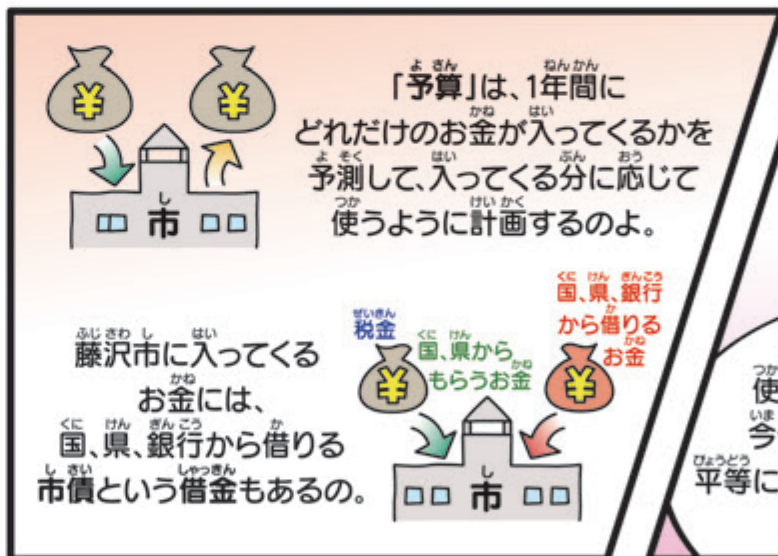
①1番目 ②4番目 ③10番目

クイズのこたえは、このページの下にあります。



Q1のこたえ：② 横浜市、川崎市、相模原市に次ぐ4番目です。

3 つか かね かな あつ 使うお金はどうやって集めるの？





それではふたたび問題です!



Q2. 藤沢市全体の「借金」は
市民1人あたりいくらでしょうか?

- ① およそ3万1千9百円
- ② およそ31万9千円
- ③ およそ319万円

クイズのこたえは、このページの下にあります。



コラム

借金してもだいじょうぶ?

藤沢市はどのような理由で借金をするのでしょうか。
太郎さんが通う小学校の建て替え工事に例えてみましょう。



もしも…



小学校の建て替えに
20億円以上の支払いが必要です

結果



一度に払ってしまうと、小学校、保育園の運営管理、
通学路の整備、ごみの回収、下水道の維持管理にお金がたりません

そこで…

学校の校舎などずっと使用していくものは、今使う人も将来使う人も平等に
みんなで支払いをしていくことにしています。



藤沢市が集めたお金のほかに借金をします



長い間に分けて借金を返していきます





それでは最後の問題です!

Q3. 藤沢市の「貯金」(「基金」)は
市民1人あたりいくらでしょうか?

- ① およそ5千2百円
- ② およそ5万1千7百円
- ③ およそ51万7千円

クイズのこたえは、このページの下にあります。



全問正解
おめでとう!

4 使ったお金はどうやって確認するの?



入門編はここまで。次のページからは「財政」の詳しいことが書いてあります。

2

もっと知りたいあなたに 平成29年度予算を見てみよう

1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。つまり、3つのお財布があって、お金の出し入れをしています。



1,527億
8,400万円

一番大きいお財布が「一般会計」です。

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を管理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金を出し入れするお財布です。

平成29年度の当初予算の額は、1,527億8,400万円になっています。

一般会計

次のお財布は「特別会計」です。

お金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。藤沢市には、「国民健康保険事業費」や「区画整理事業費」など7つの特別会計があります。

873億
7,559万円

特別会計

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費……………36億7,651万円
- 墓園事業費……………9億7,722万円
- 国民健康保険事業費……………486億9,453万円
- 柄沢特定土地区画整理事業費……………5億7,295万円
- 湘南台駐車場事業費……………6,655万円
- 介護保険事業費……………280億2,387万円
- 後期高齢者医療事業費……………53億6,396万円

452億
8,574万円

最後のお財布が「公営企業会計」です。

民間の会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。藤沢市には下水道と病院の2つの公営企業会計があります。

公営企業会計

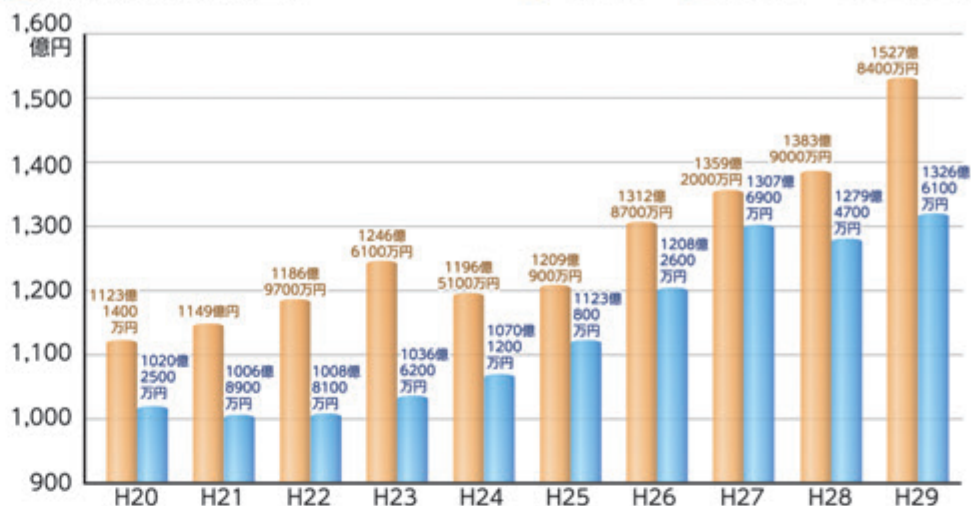
- 下水道事業費……………216億7,563万円
- 市民病院事業……………236億1,011万円



全会計 **2,854億4,533万円**

● 予算規模の推移

■ 一般会計 ■ 特別会計・公営企業会計



平成29年度の一般会計の当初予算は、児童保育委託費や障がい者福祉における介護給付費などの扶助費の増などにより、前年度の当初予算に比べ増加しています。

特別会計・公営企業会計の当初予算は、介護保険事業における介護給付費や北部第二(三地区)土地区画整理事業費における工事費などが伸びているため、前年度の当初予算に比べ増加しています。

2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況なの？

では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成29年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

自主財源
988億4,496万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。



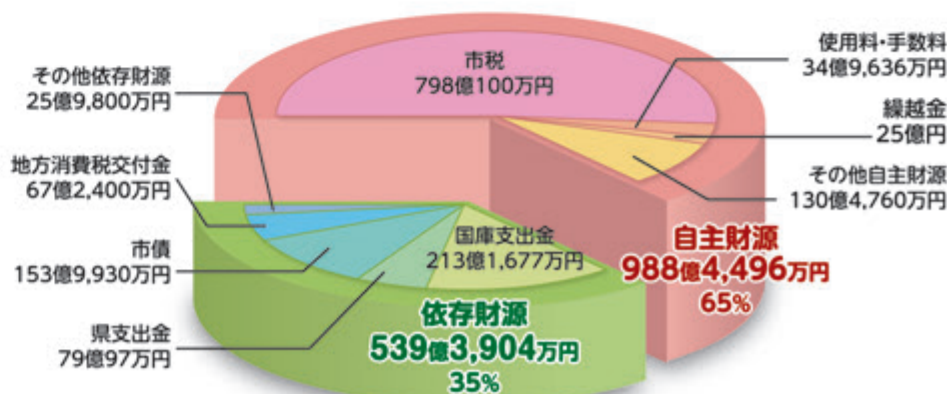
依存財源
539億3,904万円

道路や施設をつくる時に国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。



● 平成29年度 歳入予算の内訳

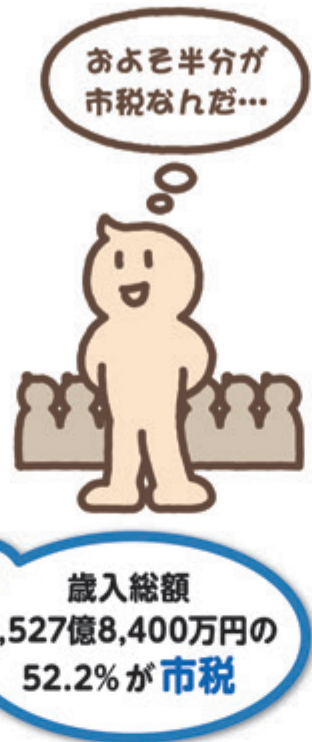
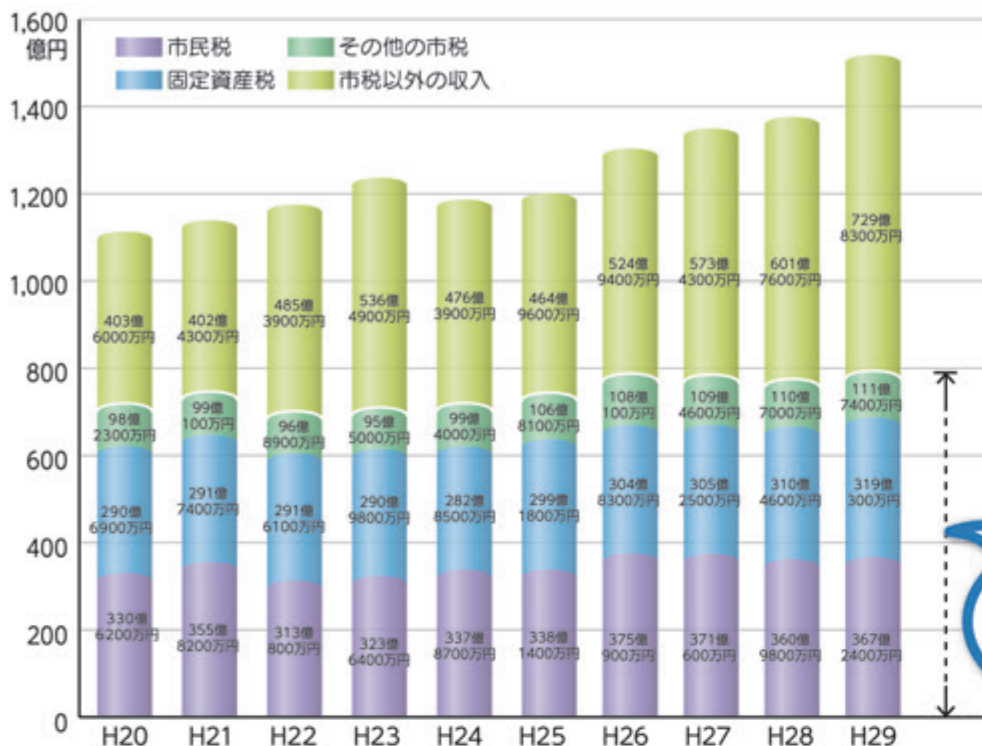
藤沢市は自主財源の比率が高いのが特徴です。





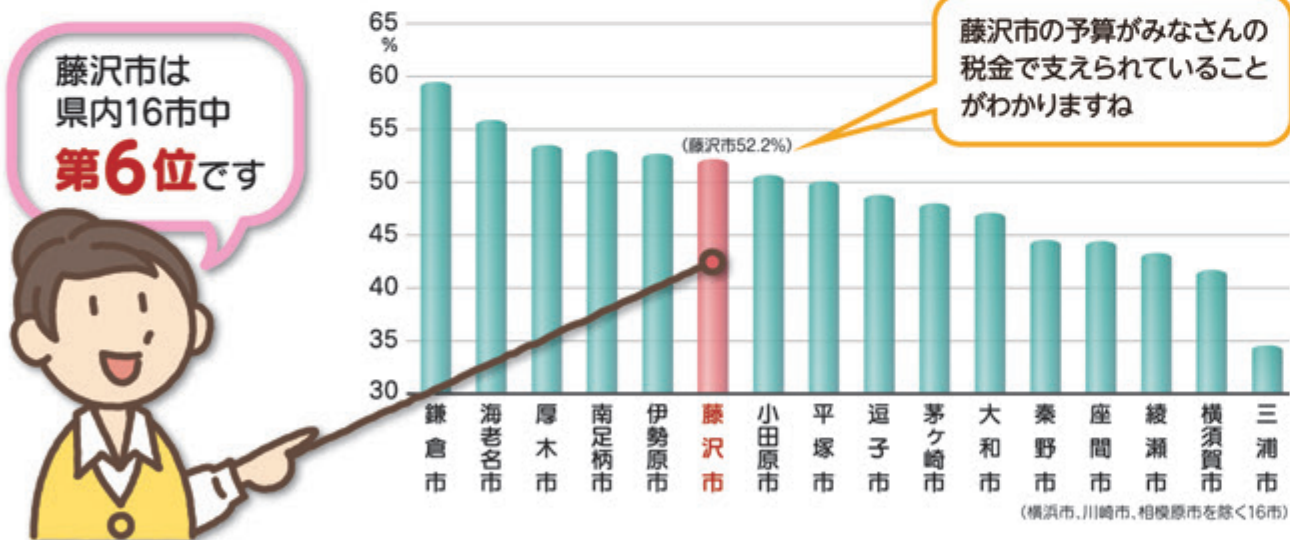
歳入のうち、中心となる市税についてももう少し詳しく見てみましょう。

●一般会計歳入予算に占める市税の推移



平成29年度予算では、基金からの繰入金を増額したことにより、市税の割合は低下しましたが、個人市民税や固定資産税の増額を見込んで、平成28年度当初予算比で約16億円増の約798億円としています。

●歳入予算に占める市税の割合(県内16市との比較)



藤沢市の予算がみなさんの税金で支えられていることがわかりますね

★ふるさと納税について

ふるさと納税は、都道府県・市区町村に寄附をすると、寄附額のうち2,000円を超える部分について、一定の上限まで、所得税・個人住民税が控除される制度です。

寄附という形で藤沢市を応援していただくことで、まちづくりの推進や収入の確保につながります。

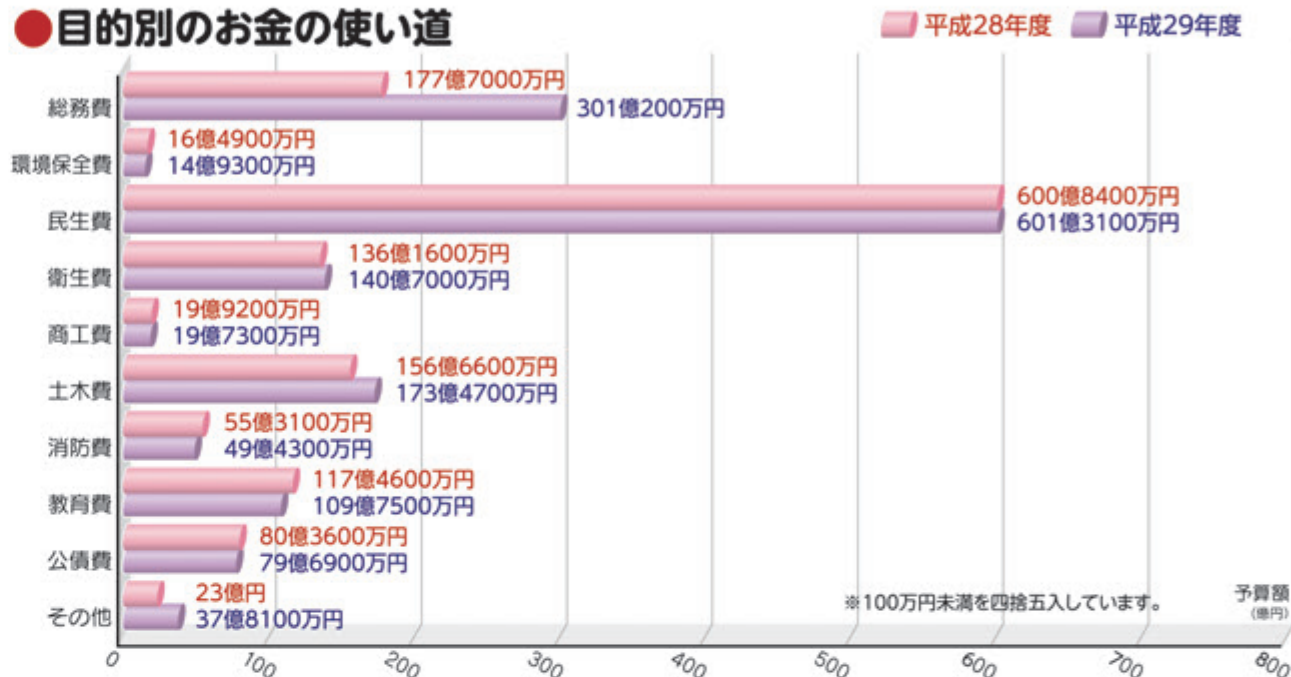
3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況なの？

入ってきたお金は、どのように使われているのでしょうか。今度は歳出について見てみましょう。

市では、子育てや福祉のほか、道路や学校などを作ったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、さまざまな事業にお金を使っています。



● 目的別のお金の使い道



総務費
市民センターや市民会館の運営、広報ふじさわの発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。

環境保全費
交通安全や防犯対策、公害防止や緑地の保全などに使われます。

民生費
保育園の運営、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。

商工費
商店街や中小企業を応援したり、観光施設の管理などに使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園を作ったり、市営住宅の管理などに使われます。

消防費
消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。

教育費
小学校や中学校の校舎や体育館、公民館や図書館、スポーツ施設の整備や運営に使われます。

公債費
大きな施設や道路を作るときに、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。

その他
農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。

消費税率引き上げによる増収分(地方消費税交付金)については、社会保障4経費(年金・医療・介護・子育て)およびその他社会保障施策に使われています。

4 家計簿に例えて見ると

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられませんが、例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えてみると…



藤沢市の予算

こうなります。

収 入		支 出	
市 税	798億 100万円	人件費	263億3,257万円
使用料、手数料など	190億4,396万円	扶助費	386億7,154万円
【自主財源合計】	988億4,496万円	物件費	253億8,737万円
国・県支出金など	385億3,974万円	投資的経費・維持補修費	266億1,900万円
市債の発行	153億9,930万円	公債費	79億6,220万円
【依存財源合計】	539億3,904万円	繰出金・補助費など	250億7,256万円
		積立金・貸付金など	27億3,876万円
収入の合計	1,527億8,400万円	支出の合計	1,527億8,400万円

1カ月の家計簿に例えると…

こんな感じになります。

収 入		支 出	
お父さんの給料	21万4,000円	食 費	7万1,000円
お母さんのパート代	5万1,000円	医療費・保育料	10万4,000円
【給料などの合計】	26万5,000円	光熱水費や被服代	6万8,000円
その他臨時収入	10万4,000円	家の増築・修理、家財購入	7万2,000円
銀行からの借入	4万1,000円	住宅ローン返済	2万1,000円
【臨時収入の合計】	14万5,000円	子どもへの仕送り	6万7,000円
収入の合計	41万円	貯 金	7,000円
		支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) 659億9,332万円 家計簿に例えると 216万円
 預貯金の残高(基金残高) 186億9,030万円 家計簿に例えると 61万2,000円

※平成27年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で約65%を占めています。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。



3

平成27年度決算を見てみよう


1 今度は平成27年度普通会計決算から藤沢市の台所事情を見てみましょう。

● 性質別のお金の使い道

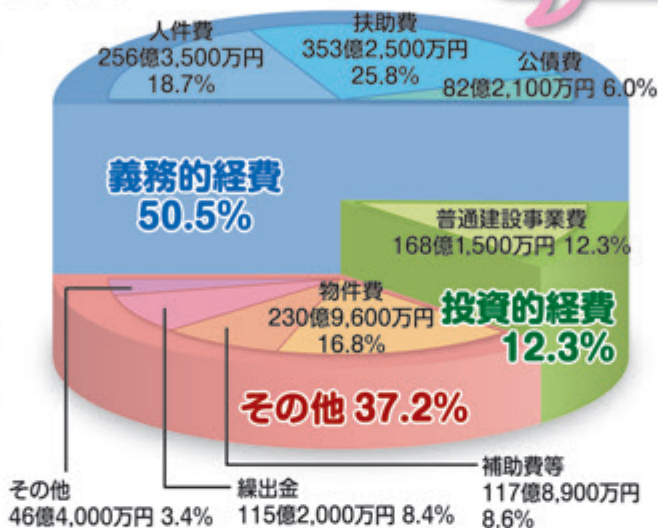

総額 1,370 億 4,100 万円



扶助費
生活困窮者、子ども、高齢者、障がい者などを援助するために使われます。




繰出金
国民健康保険事業や土地区画整理事業などに対して医療費や建設費を援助するために使われます。

公債費
国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。



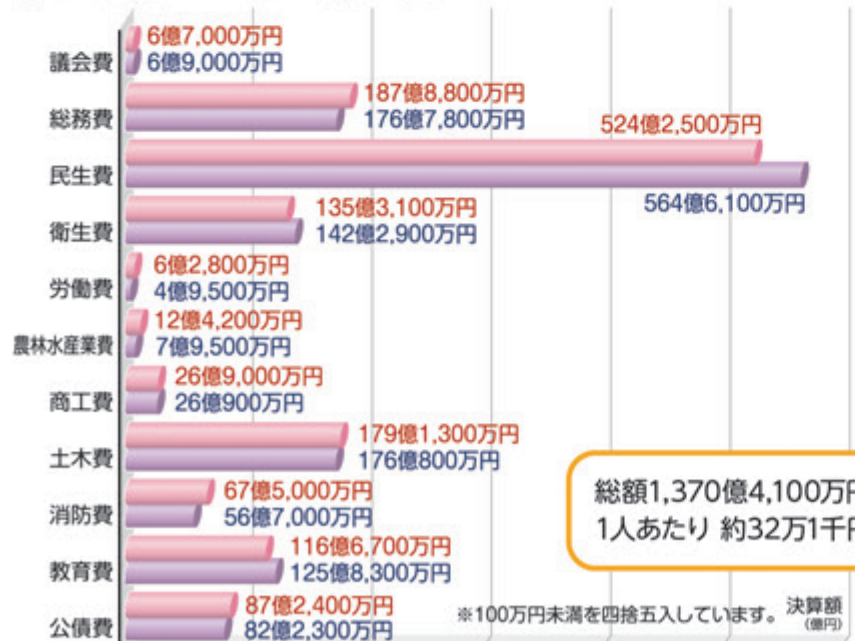
普通建設事業費
道路、橋りょう、公園、学校などの社会資本の整備に使われます。



補助費等
下水道事業や病院事業に対する負担金、幼稚園や保育所への補助金などに使われます。

● 目的別のお金の使い道

平成26年度 平成27年度



平成28年3月31日現在 藤沢市人口426,450人

★ 普通会計とは？

他市町村との比較に使います
市町村ごとに会計の範囲が異なり、財政状況の比較が困難なため、統計上用いる会計区分です。

藤沢市の普通会計は、一般会計と3つの特別会計(墓園事業費、北部第二(三地区)土地区画整理事業費、柄沢特定土地区画整理事業費)を合わせたものです。



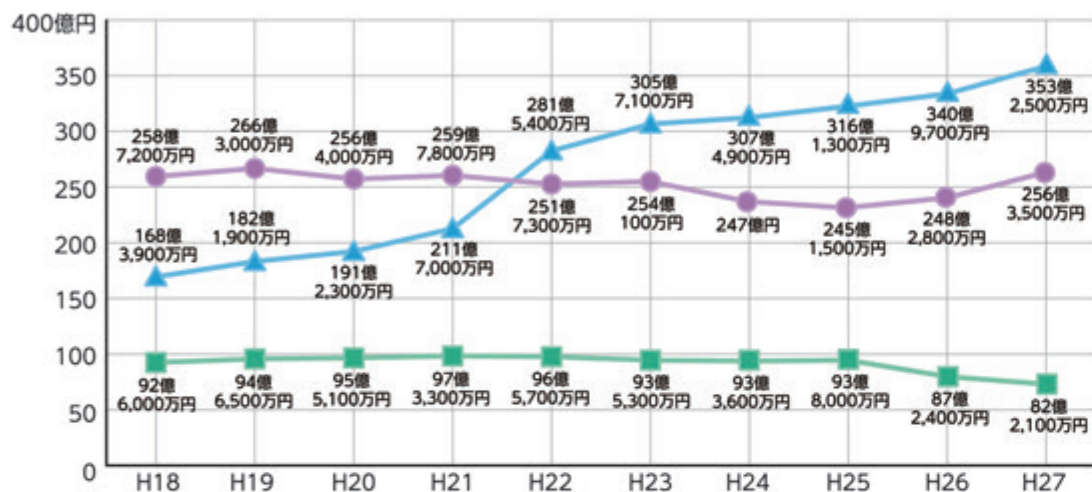
2 義務的経費について見てみましょう。

人件費、扶助費、公債費は毎年の支出が義務づけられ節減することが難しいため「義務的経費」と分類されます。

義務的経費の割合が高くなると自由に使えるお金が少なくなり、新しい市民サービスや公共施設の建設などが難しくなります。



● 人件費、扶助費、公債費の10年間の推移

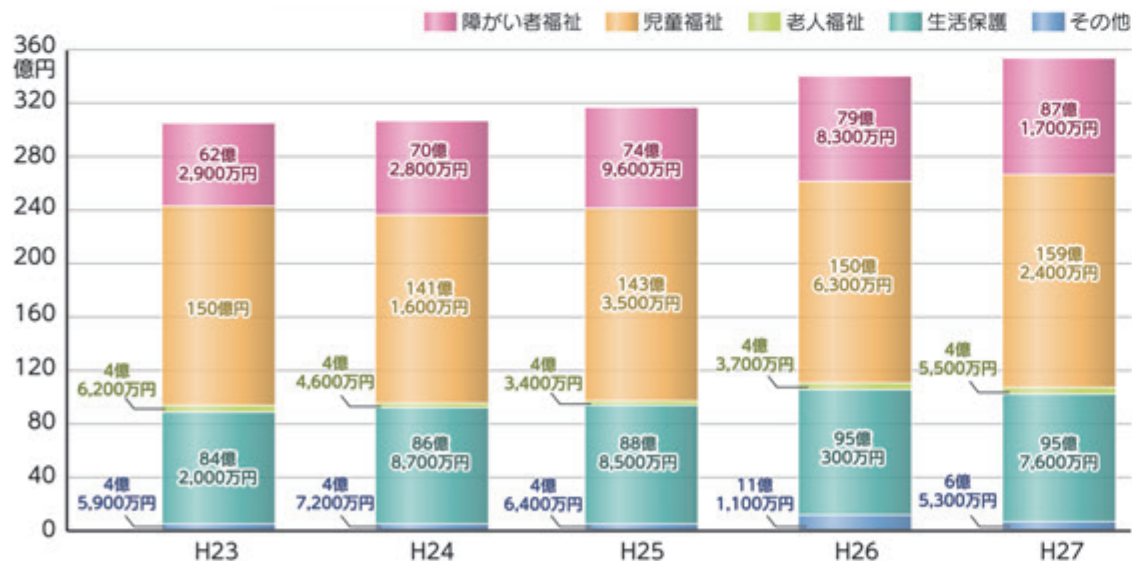


扶助費が増えているね



- 人件費は、増減はありますがほぼ横ばいで推移しています。
- 扶助費は10年間で約185億円増加しました。平成27年度は、児童保育委託費や介護給付費などの増により約12億3千万円の増加となっています。
- 公債費は、10年間で約10億円減少しています。

扶助費は何が増えているのでしょうか？

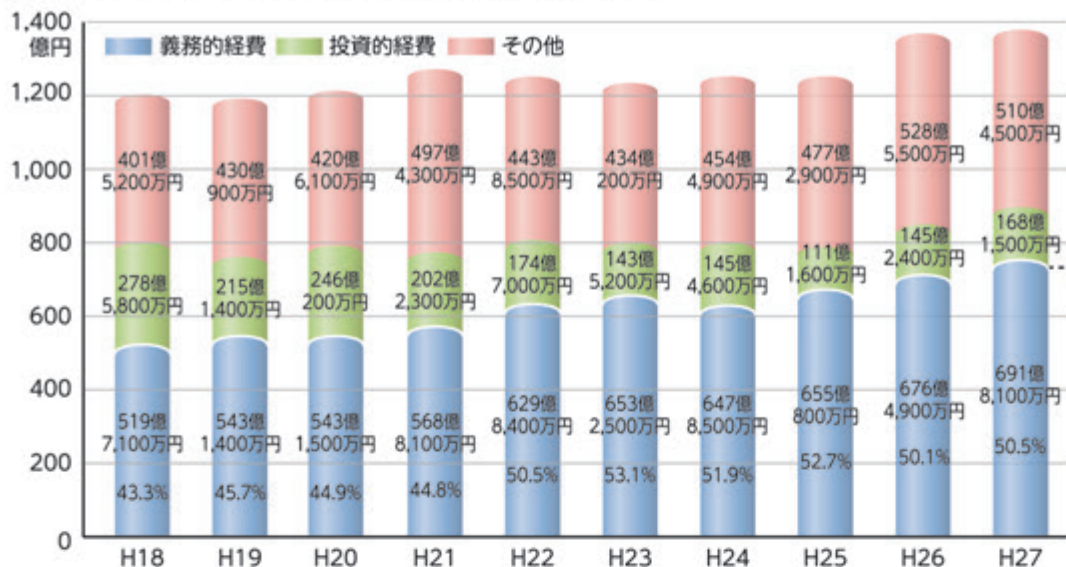


- 障がい者、子ども、生活困窮者に対する扶助費が増えています。5年間で約48億円の増加(障がい者福祉費が25億円、39.9%増、児童福祉費が9億円、6.2%増、生活保護費が12億円、13.7%増など)となっています。

老人福祉費の割合が少ないのは、これとは別に、介護保険事業費や後期高齢者医療事業費の特別会計で約297億円を支出しているからなんだ!



● 歳出全体に占める義務的経費の割合



● 義務的経費は10年間で約172億円(33.1%)増えました。歳出全体に占める割合は、平成22年度に50%を超えて以降、継続して50%を超える水準で推移しています。

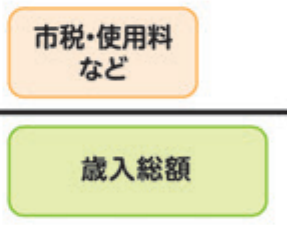
歳出は扶助費をはじめとした義務的経費が増える傾向であることがわかりました。
藤沢市の財政運営は大丈夫なのでしょうか。
二つの指標から見てみましょう。



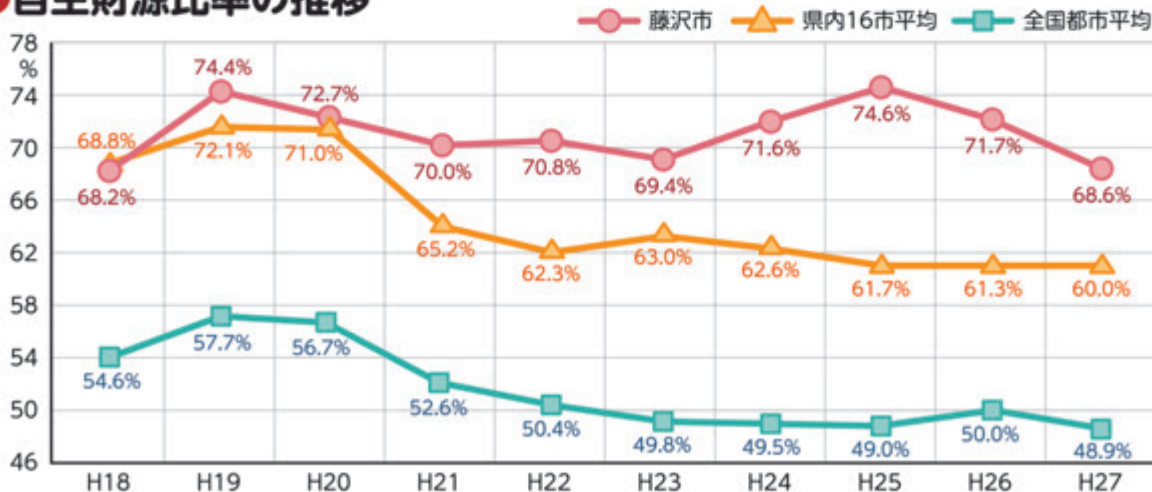
3 「自主財源比率」は財政の安定度をあらわします。

★ 自主財源比率とは？

財政の安定度や健全度を示す指標です。
市税や使用料・手数料などの自主財源が歳入全体に対してどの位の割合になるかをあらわし、比率が高いほど財政基盤の安定性があります。



● 自主財源比率の推移



全国都市平均は平成19年度以降低下傾向にあり、近年は、50%前後で推移しています。
藤沢市は68.6%と市民や企業の担税力に支えられ、全国都市平均を上回る高い率となっています。

4 「経常収支比率」は台所事情をあらわします。

★経常収支比率とは？

自由に使えるお金がどのくらいあるかがわかります。

社会経済や市民ニーズの変化に的確に応じていくための財源がどの程度確保されているかを示します。算出方法は、

毎年度固定的に支出される経費(※)に使われた一般財源

市税等の経常的な一般財源

です。

※人件費、扶助費、公債費などです。

家計における食費やローンの返済額の割合と同様に、その比率が低ければ自由に使えるお金が多くなります。



★一般財源とは？

使い道が特定されない、どの事業にも使える収入のことです。主なものに市税、国からの譲与税、赤字債である臨時財政対策債などがあります。

それに対して、国や県からの補助金など、使いみちが決まっている収入を特定財源といいます。

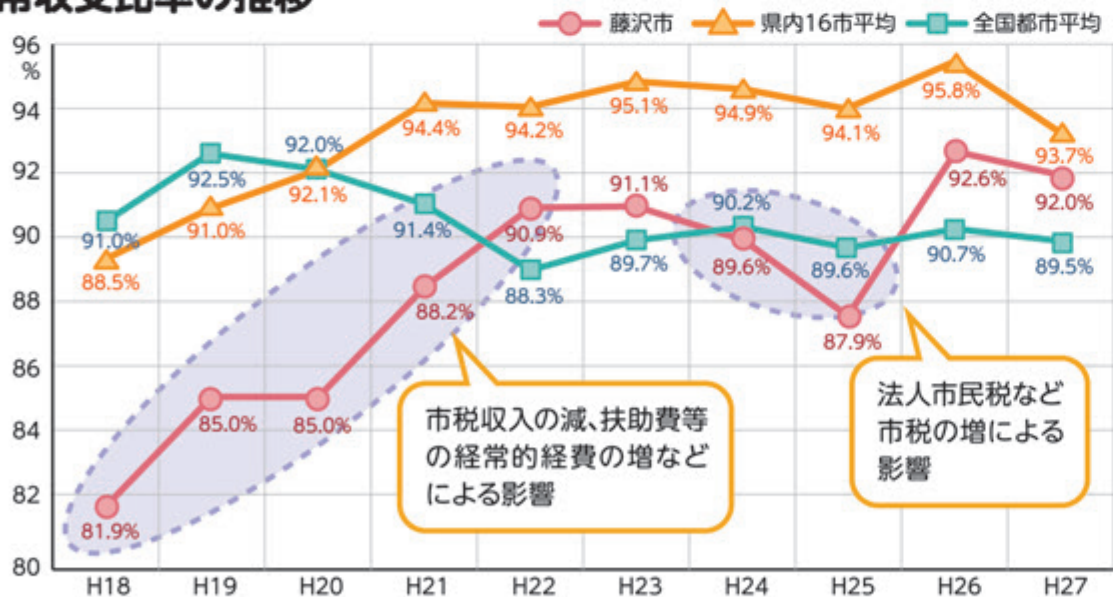
臨時財政対策債とは？

国から地方自治体に分配する地方交付税の不足を補うため、不足分の一部を地方自治体が借入れる地方債のことを言い、後年度に元利償還金を地方交付税として国から地方自治体に戻すしくみになっています。藤沢市は平成27年度は発行していません。

※経常収支比率の算定では、分母の一部になるため、臨時財政対策債発行額の減少は、経常収支比率の上昇要素になります。



●経常収支比率の推移



経常収支比率は一般的に80%程度が望ましいと考えられていましたが、現在では大多数の市が80%を超えており、平成27年度決算の全国都市平均は89.5%となっています。

藤沢市は、経常収支比率の分子では扶助費などが増になりましたが、分母では地方消費税交付金の増が上回ったため、平成26年度より0.6ポイント減の92.0%となりました。

5 財政指標ランキングコーナー!!

藤沢市の財政指標のランキングがわかるコーナーです。

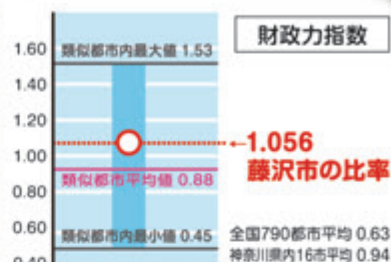
財政状況を見る財政指標にはいろいろありますが、ここでは主な財政指標を取り上げました。

財政力指数



財政力指数は、標準的な行政活動を行うために必要な財源を、どの程度自力で調達できるかを見る指数です。

指数が大きいほど財政力が強く、1未満になると国から普通交付税が交付されます。

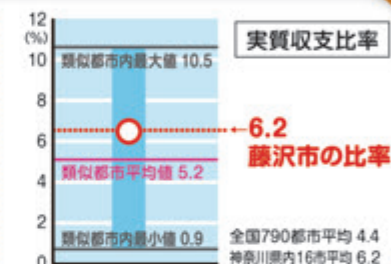


実質収支比率



歳入歳出の形式的収支から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額(黒字または赤字額)が、標準財政規模に対してどの位の割合になるかを表すものです。

よりわかりやすく言うと黒字率や赤字率を見る指標です。

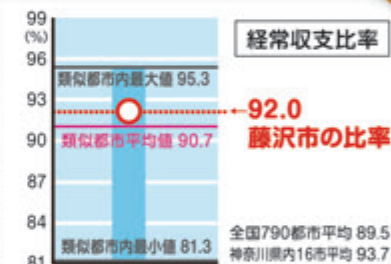


経常収支比率



扶助費や人件費など経常にかかる経費に対して、市税や各種交付金など経常に入ってくる一般財源をどの位の割合で使っているかを表すもので、財政の弾力性や硬直性を見る指標です。

この比率が高いほど財源の余裕が少なくなり、政策的に使えるお金が少なくなります。

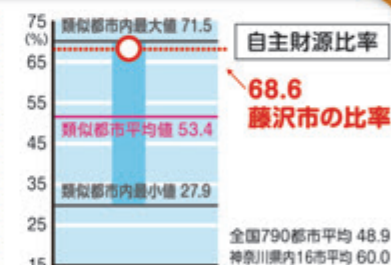


自主財源比率



市税や使用料・手数料などの自主財源が歳入全体に対してどの位の割合になるかを表し、財政の安定度や健全度を示す指標です。

この比率が高いほど財政基盤の安定性があります。

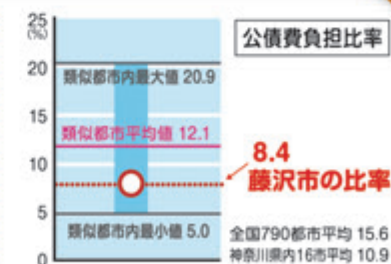


公債費負担比率



公債費に充当された一般財源が一般財源総額に対して、どの位の割合になるかを表すものです。

公債費がどの程度一般財源の使用の自由度を制約しているかをみることにより、財政構造の弾力性を判断することができます。



※注1:いずれの財政指標も平成27年度決算に基づく財政指標です。

※注2:県内16市は、政令市(横浜市、川崎市、相模原市)を除いた市です。

※注3:類似都市は、人口15万人以上、産業構造の2次及び3次産業が90%以上、3次産業が65%以上の26都市です。

4

藤沢市の借金は どうなっているの？

財政のはなし

平成29年度予算

平成27年度決算

藤沢市の借金

藤沢市の貯金

これから先は？

藤沢市の財政状況

1 どうして借金をするの？



「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」と「毎年の財源を平均する役割」があります。



公共施設の整備には一時的に多額のお金が必要になります。これをその年の収入だけで賅ってしまうと他の仕事ができなくなってしまいます。

また、公共施設は現在の市民だけでなく、将来の市民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、市債を活用して世代間で平等に費用の負担をお願いしています。



2 借金はどれくらい？

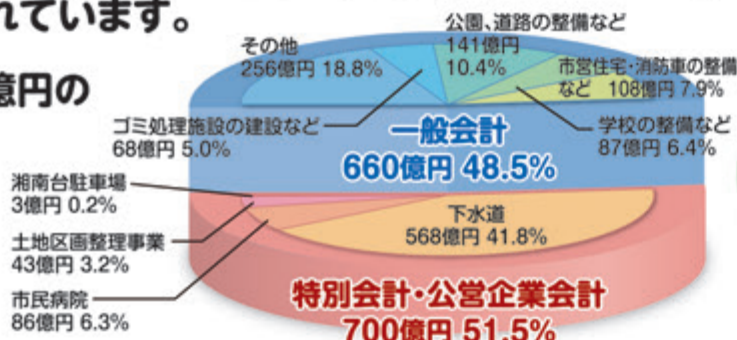
平成27年度決算から見てみましょう。

藤沢市の借金は、平成27年度に約147億円を借り入れて、約125億円返済しました。借金残高は、市全体で約1,360億円です。



借金は、主に公園、道路、学校、下水道などの公共施設の整備に使われています。

借金1,360億円の
使い道

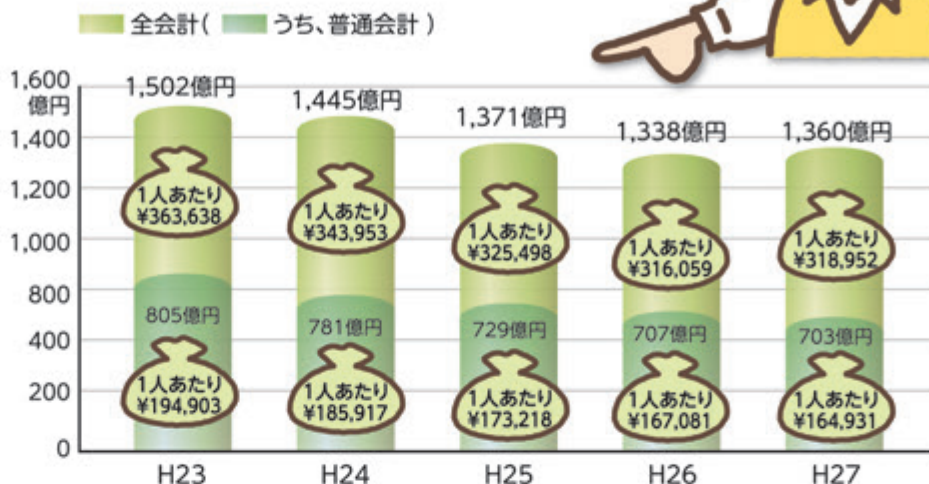


市民1人あたりにすると
平成27年度中に
新たな借り入れ…約3万4千円
元金返済……………約2万9千円
残高……………約31万9千円

借金の額がわかりましたが、額が大きすぎてイメージがつかみにくいですね。借金残高と借入額について、市民病院や下水道などの特別会計を含めた推移と市民一人あたりの金額を見てみましょう。



● 借金残高の推移



過去に借り入れた借金の返済が進んでいるため、残高は減少傾向です。

★ 借金は他の市と比べて多いの？少ないの？

平成27年度決算では市民一人あたりの借金残高が県内16市の中で最も少なくなっています。

(横浜市、川崎市、相模原市を除く県内16市)



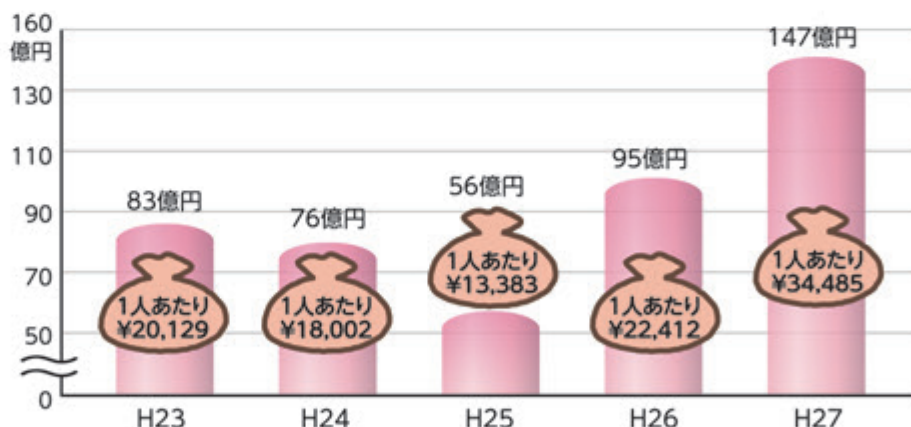
藤沢市
約16万円

最高 A市
約58万円

16市平均
約27万円

※他市と比較するため普通会計(12ページに説明があります)という区分での数値になります。

● 借入額の推移



平成27年度は市民病院や六会市民センター、新庁舎等の再整備などにより借入額が増加しました。

市債？
国債？

市の借金のことを「市債」
国の借金は「国債」
県の借金は「県債」と呼びます。

どこから
お金を借りて
いるの？

国、県、銀行などから
借りています。

3 借金の返済額は妥当なの？



健全化判断比率(実質公債費比率)から見てみましょう。

借金の返済額が身の丈にあったものかどうかを判断する基準に「実質公債費比率」というものがあります。収入に対して返済額がどの程度の割合になるのか、借金返済の負担が多すぎないかをチェックするものです。

借金漬けになる可能性が高いとされる目安25%に対して、藤沢市は1.8% (平成27年度決算)で良好な状態にあります。

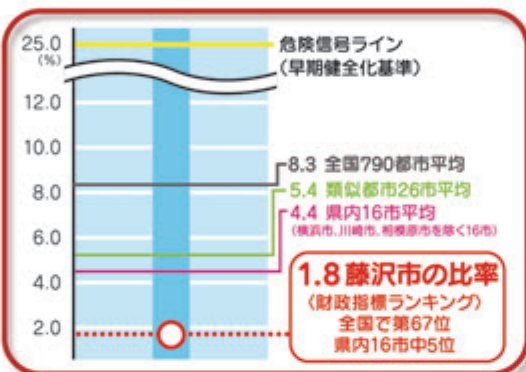


家計に例えると(実質公債費比率)

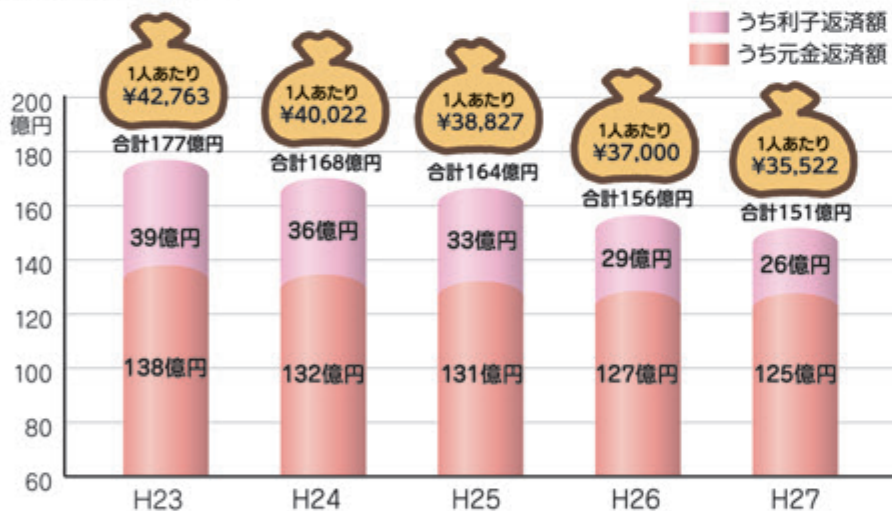
家や車のローン、クレジットカードで買い物をした支払いなど、その年の返済額が年収の25%以上となった場合、借金漬けになる可能性が高いという危険信号を示しています。



● 実質公債費比率(他市との比較)



● 返済額の推移



元金返済額、利子返済額ともに減少しています。

★ 財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」って？

財政破綻を未然に防ぐことを目的とした「財政健全化法」という法律で、財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」を議会や市民のみなさんに毎年公表することが義務づけられています。

健全化判断比率は、4つの指標①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率があり、赤字や負債(借金返済)の状況など4つの視点から示すものです。

①・②は年間の赤字の割合(①は一般会計等、②は全ての会計を対象)、③は借金の返済額の割合、④は将来の負担が見込まれる負債の割合をチェックするものです。

4 将来の市民に負担はかからないの？



健全化判断比率(将来負担比率)から見てみましょう。

借金や数年間にわたる契約により約束された支払い、職員の退職金など、将来支払わなければならない負債が、収入に対してどの程度なのかを示す指標として、「将来負担比率」というものがあります。負債にかかる負担が大きいかをチェックするものです。

将来財政を圧迫する可能性が高いとされる目安350%に対して、藤沢市は18.3%(平成27年度決算)で良好な状態にあります。

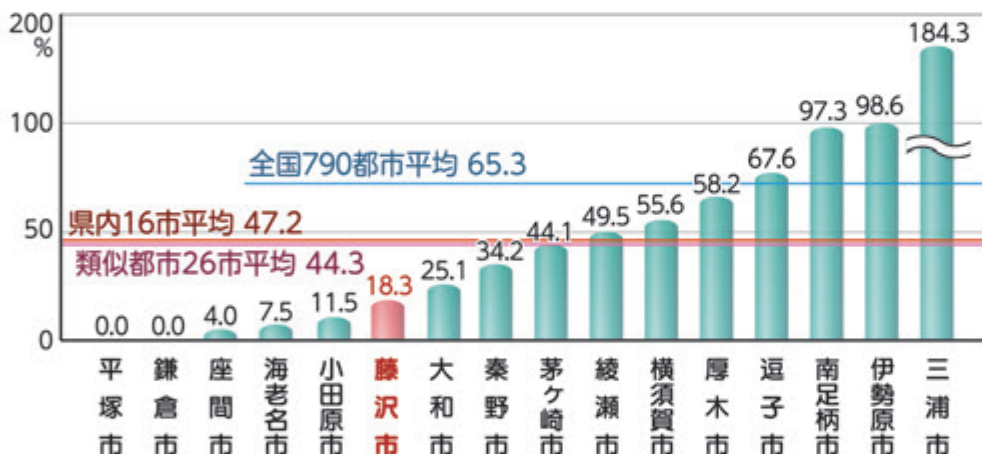


家計に例えると(将来負担比率)

家や車のローンの残高、クレジットカードの支払い残高など、これから返済していかなければならない返済総額が、年収の3.5倍以上になった場合には、今後ローン返済などに追われ家計が成り立たなくなり、経済的苦境におちいる状態にあることを示しています。



● 県内16市将来負担比率



藤沢市の比率は、県内16市中、将来負担が少ないほうから数えて6番目です。

類似都市平均、全国平均からみても良好な状態にあるといえます。

(横浜市、川崎市、相模原市を除く県内16市)



健全化判断比率からみた平成27年度の藤沢市の財政状況は、いずれの指標も危険信号を示す基準値を下回っており、「健全」と言えます。

● 健全化判断比率

比率	藤沢市		早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
	H27	H26		
実質赤字比率	(▲)7.21	(▲)6.00	11.25	20
連結実質赤字比率	(▲)19.10	(▲)18.97	16.25	30
実質公債費比率	1.8	2.2	25	35
将来負担比率	18.3	11.3	350	

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率の比率欄「-」は、それぞれ比率の算定の結果、「実質赤字額がない」ことを表しています。参考として()にマイナスの比率を表記しています。

★ 早期健全化基準・財政再生基準とは？

市の財政状況が悪化し、危うくなったときにイエローカード(早期健全化基準)で警告をします。

更に悪化し自主的に財政の立て直しができなくなったときは、レッドカード(財政再生基準)で、国・県の関与のもと、確実な財政の立て直しに着手することになります。



5

藤沢市の貯金はどれくらい？

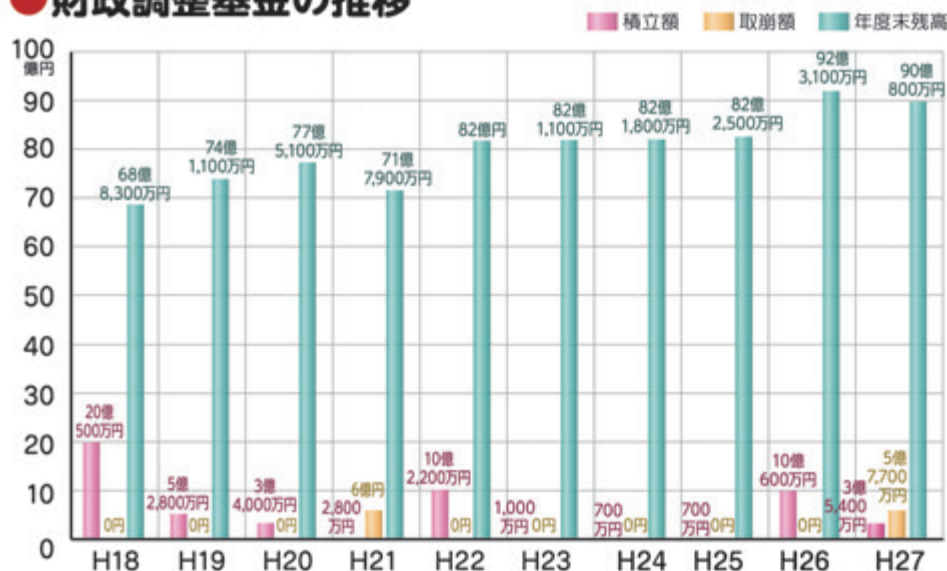
1 借金のことはわかったけど、貯金はあるの？ 平成27年度決算から見てみましょう。

藤沢市には貯金に相当する「基金」というものがあります。基金は、それぞれの基金条例に基づき、寄附金や基金利子などを積み立てて、基金の目的に応じて必要な時におろして使うものです。藤沢市は財政調整基金をはじめ、公共施設整備基金、環境基金、愛の輪福祉基金など、全部で13の基金を持っていて、平成27年度末の総額で約220億3千万円、市民1人あたり5万1千7百円の貯金があります。



※基金数は平成27年度末のもので、※平成27年度は新たに藤沢市災害復興基金を創設しました。

● 財政調整基金の推移



いろいろな基金の中でも、財政調整基金は、年度間の財源の調整やいざという時のために積み立てているものです。

財政調整基金のここ10年間の推移を見てみましょう。

Q 平成27年度には貯金をおろしたということ？

A そうです。平成27年度は、一般財源の不足の補てんとして基金を取り崩しました。平成21年度は公募債の償還や、各種交付金の補てん財源として基金を取り崩しました。

Q いざという時のためには、貯金があった方が安心だね

A そう、そのために今後も経済状況の落ち込みに伴う税収減による財源不足や、災害への備えなどのために、可能な限り財政調整基金に積み立てていく必要があります。

6

これから先の藤沢市の財政は？

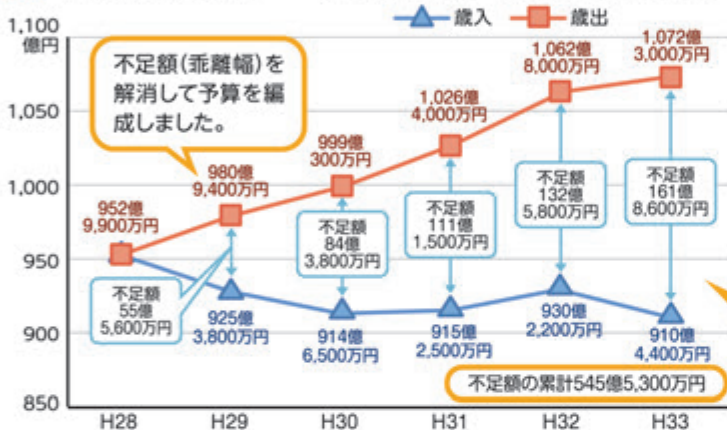
1 将来も藤沢市の財政は大丈夫なの？

これからの藤沢市のまちづくりでは、数多くの事業を計画しており、これらを実施していくためには多くの財源が必要となります。

歳入の根幹となる市税収入は、経済情勢や税制改正など不確定要素はあるものの、中長期的には横ばいあるいは減少傾向で推移すると予測しており、財源確保がとて大きな課題です。



●中期財政フレーム（一般財源ベース・平成28年11月時点）



※H28は当初予算(肉付け予算を含む)、H29～H33は推計

歳出面では、**少子超高齢化を背景とした扶助費などの増加**や、**市民センターや保育園、小学校などの老朽化した公共施設の再整備**に要する経費の増加が今後も予測されることなどから、より厳しい財政運営が中長期的に見込まれます。

一般財源(市が自由に使うことができる財源)の数値であり、特定財源(使いみちが決められている財源)は含まれていないため、予算総額とは一致しません。

★中期財政フレームとは

今後の中期的(5年間)な財政見通しのことです。

藤沢市が平成28年11月に公表した中期財政フレームでは、一般会計予算の歳入(市税など)、歳出(扶助費や公共施設再整備の費用など)を一般財源ベースで試算したところ、5年間の累計で約545億円の財源不足が生じる見込みとなりました。

2 これからどうやって財政運営を行っていくの？

これまでは健全財政を保ってきましたが、これからは歳入が減少傾向にある一方、歳出は増加傾向にあることから、大変厳しい財政運営が見込まれます。

中期財政フレームにおける財源不足は、現在計画している事業をすべて予定どおりに実施した場合の見込額であり、毎年度の予算の編成にあたってはこの不足額を解消していかなければなりません。

今後は緊急性の高い事業を優先的に行うことや、事業を見直すことなどにより、歳出を抑制し、また歳入面においては、国・県補助金等の積極的な獲得のほか、市債や基金の効果的な活用などにより、財源確保に努める必要があります。

平成29年度予算編成では約55億円の財源不足を解消しましたが、今後も継続的に中期的な財政見通しを立てながら、こうした歳入歳出両面での対策を行い、健全財政の維持に取り組んでいきます。

7 財務書類4表でわかる 藤沢市の財政状況

1 財務書類4表ってどんなもの？

①どのような資産を持っているかなどがわかる**貸借対照表**、②行政サービスにどれだけ費用がかかっているかなどがわかる**行政コスト計算書**、③純資産が前年度に比べ、どのように変動したかがわかる**純資産変動計算書**、④現金の変動がわかる**資金収支計算書**の4つの書類のことです。市では、この財務書類4表の作り方を変える地方公会計制度改革に取り組んでいます。



Q 地方公会計制度改革って何をするの？



A

現在、藤沢市を含め多くの地方自治体が単式簿記・現金主義会計で作成している財務書類を、企業会計において使用されている複式簿記・発生主義会計(※)に基づいて、全国の地方自治体が同じ基準で作成しようとする取り組みのことです。

同じ基準で作成することにより、他の地方自治体とより正確な比較ができるようになります。
※発生主義会計…お金のやり取りの原因となる事実が発生した日を基準にしたもので、これからの支払いや受け取りの予定が決まっているお金の状況なども明らかになります。

Q どうして公会計の改革が必要なの？



A

現在の制度では、ストック情報やコスト情報が不足しているといわれています。
ストック情報とは行政サービスを実施する上で市が持っている全ての資産や負債などの財産情報です。

コスト情報は市民サービスの提供に必要な総費用の情報です。
これらの情報を十分に開示するためには、公会計の改革が必要なのです。



Q 具体的にはどのようなことをしていくの？



A

平成27年1月に、国から全国统一基準による財務書類を作成するよう要請が出されたのを受け、平成27年度から公会計改革に着手し、道路、公園といったインフラ資産やソフトウェアなど固定資産を対象に、固定資産台帳の整備を行いました。

平成29年度には固定資産台帳におけるストック情報を基に財務書類4表の1つである貸借対照表を作成するなど、新しい基準で財務書類を作成する予定です。

将来的には、事業別や施設別の財務書類を作成することにより、市の財政状況や施策の情報をよりわかりやすく説明することや、公共施設の老朽化対策や予算編成などにも活用することができるようになります。



Q 貸借対照表って何だろう？

A 貸借対照表は「ある一時点において市がどのような資産を持っているか、また、その資産をどのように手に入れたか」を表すもので、ストック情報について確認することができます。



これまでの会計では見えづかった資産についての情報はこの表によって確認できます。

資産の部 1 公共資産 ● 土地、建物 ● 売却可能資産 2 投資等 ● 投資及び出資金 ● 貸付金 3 流動資産 ● 現金預金 計 ○○○円	負債の部 1 固定負債 2 流動負債 計 ○○○円 純資産の部 1 国・県補助金等 2 一般財源等 計 ○○○円
---	---

資産の部では、市が持っている道路や学校などの価値をお金で表しています。

貸借対照表の右側(負債の部、純資産の部)では、資産をどのように手に入れたのかを示しています。



負債の部と純資産の部は、資産をどのように手に入れたのかを財源ごとに一覧にしたものです。

資産の部 1 公共資産 ● 土地、建物 ● 売却可能資産 2 投資等 ● 投資及び出資金 ● 貸付金 3 流動資産 ● 現金預金 計 ○○○円	負債の部 1 固定負債 2 流動負債 計 ○○○円 純資産の部 1 国・県補助金等 2 一般財源等 計 ○○○円
---	---

負債とは市債償還金など、将来現金が出ていくことを表しているもので、将来世代の負担といえます。

純資産とは市税や国・県からの補助金などで、現在までの世代の負担といえます。

Q では、コスト情報は何で知ることができるの？

A 行政コスト計算書は、市が提供した行政サービスにどれだけ費用(コスト)がかかり、それをどのような収入でまかなったのかを表すもので、コスト情報について確認することができます。

人にかかるコストや物にかかるコストなど、その性質によって4種に分類しています。下には市の行政コストの合計額があります。

保育料、住民票の写しの発行手数料などの集計です。

市税や国・県からの補助金などです。



① 経常行政コスト
人にかかるコスト
物にかかるコスト
移転支出的なコスト
その他のコスト
計 ○○○円

計算書の上段①は行政サービスに要したコスト全体を表しています。

② 経常収益
使用料・手数料
分担金・負担金・寄附金
計 ○○○円

中段②はサービスを利用した方が支払う使用料や手数料などを表しています。

③ 純経常行政コスト
(①-②)

下段③は、コスト全体から、使用料など行政サービスを利用した方の負担額を差し引いた額を示しています。

②を①で割ると行政サービスを利用している人が負担している割合がわかります。残りの割合は市税などでまかなわれています。

(29ページ参照)

2 藤沢市にはどのくらいの資産があるのだろうか？

貸借対照表を見れば、藤沢市の資産、負債、純資産が一目でわかります。
資産、負債、純資産の割合を円グラフで表すと次のようになります。



平成27年度 普通会計

● 平成27年度 普通会計貸借対照表(平成28年3月31日現在)

市が持っているすべての資産や負債などのストック状況を表したものが貸借対照表です。

貸借対照表の左側(借方)には資産が、右側(貸方)の上部には資産の取得のために借り入れた借金などの負債が、右側(貸方)の下部には、借金以外の資産取得の財源である純資産がそれぞれ表示されます。

$$\text{資産} = \text{負債} + \text{純資産}$$

	借方	貸方	
土地、建物、構築物、備品など	[資産の部]	[負債の部]	借り入れた市債のうち翌々年度以降の償還予定額
有形固定資産のうち未利用資産で売却が可能なもの	1. 公共資産 1兆4,603.3億円	1. 固定負債 891.8億円	全職員が年度末に自己都合退職したと想定した場合の退職手当額最大どれくらいの額が必要か見るためのもの。
下水道などの企業会計や市出資団体などに対する出資金	(1) 有形固定資産 1兆4,595.4億円	(1) 地方債 626.9億円	借り入れた市債のうち翌年度の償還予定額
みどり基金など特定目的基金の残高	(2) 売却可能資産 7.9億円	(2) 長期未払金 100.6億円	翌年度支払予定額のうち27年度分を準備費用として積み立てるもの
市税等の収入未済額のうち26年度以前に発生した分のうちの未収額	2. 投資等 559.3億円	(3) 退職手当引当金 164.3億円	これまでに資産や投資の取得財源として充てた額の累計
転居先不明等の理由で市税等の回収が困難であると見込まれる額	(1) 投資及び出資金 438.4億円	(4) 損失補償等引当金 -	市債のうち赤字債は資産の形成を伴わず、償還には今後の税金などを充てるため、この分は将来の一般財源が拘束されている。
財政調整基金+歳計現金	(2) 貸付金 0.1億円	2. 流動負債 119.6億円	資産を時価評価したことにより、取得時よりも資産価値が上がっていることを表している。
市税等の収入未済額のうち27年度に発生した分のうちの未収額	(3) 基金等 108.4億円	(1) 翌年度償還予定地方債 76.5億円	
	(4) 長期延滞債権 20.4億円	(2) 短期借入金 -	
	(5) 回収不能見込額 △8.0億円	(3) 未払金 11.4億円	
	3. 流動資産 148.8億円	(4) 翌年度支払予定退職手当 16.7億円	
	(1) 現金預金 143.4億円	(5) 賞与引当金 15.0億円	
	(2) 未収金 5.4億円	負債合計 1,011.4億円	
	資産合計 1兆5,311.4億円	[純資産の部]	
		1. 公共資産等整備国庫補助金等 833.4億円	
		2. 公共資産等整備一般財源等 5,608.0億円	
		3. その他一般財源等 △303.1億円	
		4. 資産評価差額 8,161.7億円	
		純資産合計 1兆4,300.0億円	
		負債・純資産合計 1兆5,311.4億円	

△表示はマイナスを表します。



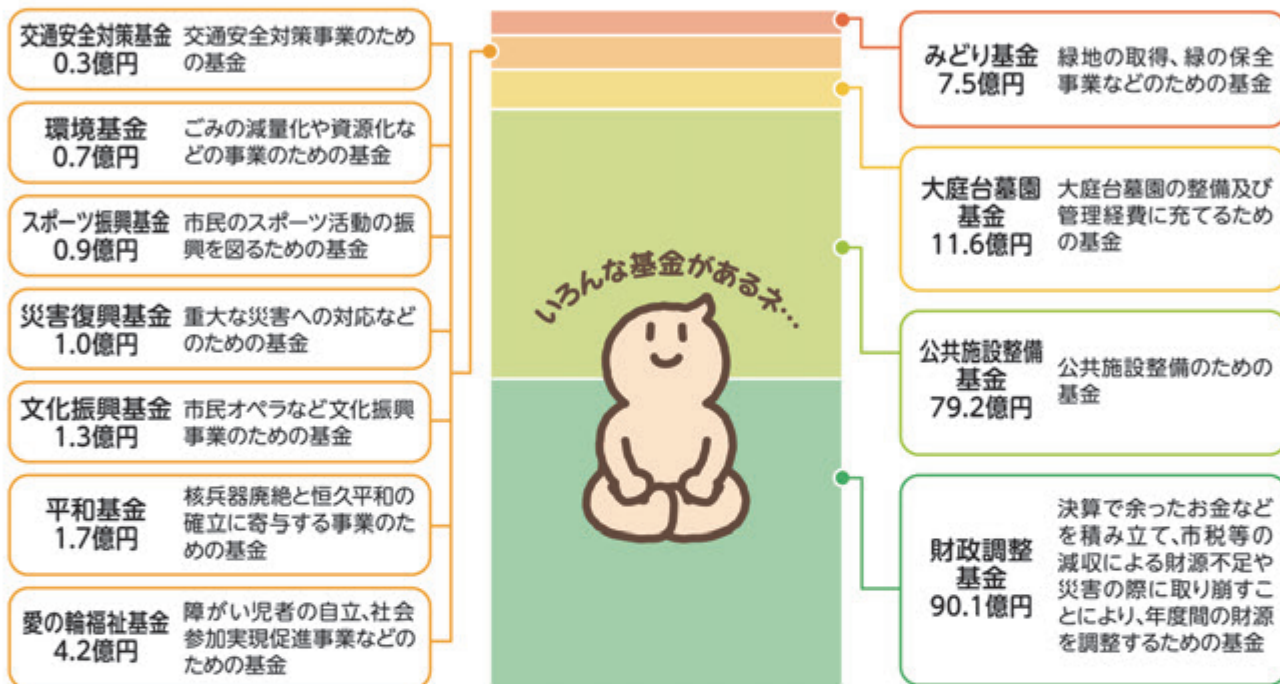
藤沢市の資産は、これまでの世代の負担(純資産)によって築かれたものが大部分を占めていることがわかります。

将来世代の負担となる負債は、資産に対して約6.6%となっています。

資産の中には、これまで積み立ててきた市の貯金ともいえる基金があります。

基金には寄附金や基金運用利子などを積み立て、それぞれの基金の目的に応じた事業に使います。

平成27年度 普通会計 基金残高



市民1人あたりの貸借対照表の値を見てみると

平成28年3月31日現在
藤沢市人口426,450人

決算書では出てこない所有している建物や土地などの金額がわかった!

市民1人あたりの有形固定資産

342万

負債には、借金だけでなく、引当金なども含まれるから、18ページの額と違うんだね。

市民1人あたりの負債

23万7千円

3 純資産ってなんだろう？

純資産は、貸借対照表の右側(貸方)の下部に表示され、その左側(借方)の資産を取得する際の財源を表し、負債以外の財源を表しています。

純資産額が前年度末(期首)に比べ、どのように変動したかを示したものが純資産変動計算書です。



● 平成27年度 普通会計純資産変動計算書

〔自 平成27年4月 1日〕
〔至 平成28年3月31日〕

	純資産合計	公共資産等 整備 国県補助金等	公共資産等 整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
期首純資産残高	1兆4,130.8億円	838.2億円	5,605.7億円	△326.1億円	8,013.0億円
純経常行政コスト	△1,189.3億円			△1,189.3億円	
一般財源					
地方税	797.5億円			797.5億円	
地方交付税	1.1億円			1.1億円	
その他行政コスト充当財源	125.8億円			125.8億円	
補助金等受入	279.7億円	19.8億円		259.9億円	
臨時損益					
災害復旧事業費					
公共資産除売却損益	2.7億円			2.7億円	
投資損失					
損失補償等引当金繰入等					
科目振替※					
公共資産整備への財源投入			67.8億円	△67.8億円	
公共資産処分による財源増				3.0億円	△3.0億円
貸付金・出資金等への財源投入			36.0億円	△36.0億円	
貸付金・出資金等の回収等による財源増			△36.1億円	36.1億円	
減価償却による財源増		△24.6億円	△112.6億円	137.2億円	
地方債償還に伴う財源振替			47.2億円	△47.2億円	
資産評価替えによる変動額	117.2億円				117.2億円
無償受贈資産受入	34.5億円				34.5億円
その他					
期末純資産残高	1兆4,300.0億円	833.4億円	5,608.0億円	△303.1億円	8,161.7億円

行政コスト計算書の(差引)純経常行政コストの額と一致

扶助費などに充てた国県補助金

資産を時価評価した結果、取得時よりも資産価値が増減することにより、その分純資産額も増減する。

△表示はマイナスを表します。

※科目振替とは、公共資産等整備と一般財源の間でそれぞれに充てた財源の原因別の変動を示しています。
「地方債償還に伴う財源振替」は、公共資産等整備のための市債の返済を一般財源でおこなったため、「公共資産等整備一般財源等」へ振替えるものです。

●財務書類4表の関連

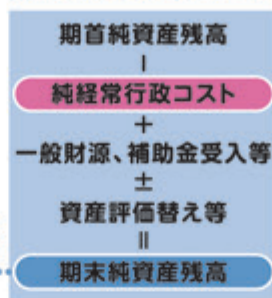
資金収支計算書



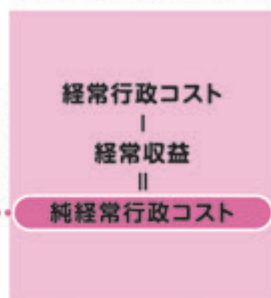
貸借対照表



純資産変動計算書



行政コスト計算書



財務諸表の4表には、次のような相互関係があります。

貸借対照表の純資産は純資産変動計算書の期末残高と一致し、貸借対照表の歳計現金は資金収支計算書の期末残高と一致し、行政コスト計算書の純経常行政コストは純資産変動計算書のそれぞれ一致します。

★資産老朽化比率

土地を除く有形固定資産合計額に対する減価償却累計額の割合を算出することにより、その資産が平均どの程度の年数が経過しているのかを表しています。

以下の5市の中では、藤沢市の施設が最も老朽化が進んでいることがわかります。

藤沢市	茅ヶ崎市	鎌倉市	秦野市	厚木市
57.5%	51.8%	51.4%	52.1%	54.9%



★受益者負担比率

経常収益は市民のみなさんが支払う使用料や手数料などの受益者負担金の総額です。行政コストに対する割合を算出することにより、受益者負担の割合を表しています。

経常収益では経常行政コストの4.4%しかまかなえていないことがわかります。

しかし、藤沢市ではごみの有料指定袋制などが導入されていることなどから、他市に比べて比率が高くなっています。

藤沢市	茅ヶ崎市	鎌倉市	秦野市	厚木市
4.4%	3.5%	4.4%	3.4%	3.6%

藤沢市の割合は
4.4%です



★市の決算と財務書類のちがいは



現在、市の決算は、お金が入ってきて収入となり、お金が出ていって支出となる**現金主義**です。

入ってきたお金を支出に充てるため、収入と支出は同じ額となります。

貸借対照表では、土地や建物などの資産がどのくらいあるか、債権がいくらあってそのうち現金化されたものがどのくらいあるか、借金が全体でどのくらいあって、いくら残っているかなど、**財務書類では市全体の資産と借金の状況**がわかるようになります。

全体の債権額と実際に現金化された額(収入済額)との差額は、貸借対照表では未収金となり、その後現金が入ることによって未収金が減っていくことになります。

4 藤沢市の行政サービスにはどのくらいのコストがかかっているのだろう？



ごみの収集や福祉サービスの提供など資産の形成に結びつかない行政サービスにどれだけ費用(コスト)がかかり、それをどのような収入でまかなったかを表すものが行政コスト計算書です。

●平成27年度 普通会計行政コスト計算書

〔自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日〕

【経常行政コスト】

		総額	構成比率
<p>貸借対照表に計上した退職給与引当金の前年度からの増減額に27年度の退職手当を加算したものの</p>	(1)人件費	226.3億円	18.2%
	(2)退職手当引当金繰入等	8.6億円	0.7%
	(3)賞与引当金繰入額	15.0億円	1.2%
	小計	249.9億円	20.1%
<p>施設の整備に要する経費</p>	(1)物件費	231.0億円	18.6%
	(2)維持補修費	11.0億円	0.9%
	(3)減価償却費	137.2億円	11.0%
	小計	379.2億円	30.5%
<p>扶助費などの経費</p>	(1)社会保障給付	353.3億円	28.4%
	(2)補助金等	57.0億円	4.6%
	(3)他会計等への支出額	176.1億円	14.1%
	(4)他団体への公共資産整備補助金等	17.1億円	1.4%
小計	603.5億円	48.5%	
<p>個人や団体等の活動に対して交付する補助金など</p>	(1)支払利息	8.4億円	0.7%
	(2)回収不能見込計上額	3.3億円	0.2%
	(3)その他行政コスト	0.0億円	0.0%
小計	11.7億円	0.9%	
経常行政コスト a		1,244.3億円	

【経常収益】

使用料・手数料	b	40.0億円
分担金・負担金・寄附金	c	15.0億円
経常収益合計 (b + c)	d	55.0億円
受益者負担比率 d / a		4.4%
(差引)純経常行政コスト a-d		1,189.3億円



差引の「純経常行政コスト」は、市税などの一般財源や国県からの補助金などでまかっています。

●平成27年度 普通会計 行政コスト計算書における
市民1人あたりの経常行政コスト



市民1人あたりの経常行政コスト 合計 291,782円

5 市の財産のうち現金の動きを見てみよう

貸借対照表の左側(借方)、資産の部に計上されている現金をその支出の性質から3つに分けて、現金の変動を表すものが、資金収支計算書です。

資金収支計算書は、引当金や減価償却費などの現金でない支出を含まないことから、ほかの財務書類と違い、現金のみの表示となっています。市の決算書に一番近い財務書類といえます。



●平成27年度 普通会計資金収支計算書

〔自 平成27年4月 1日〕
〔至 平成28年3月31日〕

1. 経常的収支の部	
支出合計	1,056.9億円
収入合計	1,243.7億円
経常的収支額	186.8億円 ①

2. 公共資産整備収支の部	
支出合計	176.4億円
収入合計	102.1億円
公共資産整備収支額	△74.3億円 ②

3. 投資・財務的収支の部	
支出合計	137.1億円
収入合計	23.3億円
投資・財務的収支額	△113.8億円 ③

翌年度繰上充用金増減額	-
当年度歳計現金増減額	△1.3億円 ④
期首歳計現金残高	54.6億円
期末歳計現金残高	53.3億円



期末は年度末をさし、それに対して年度初めのことを期首といいます。

① + ② + ③ = ④

公共資産整備収支と投資・財務的収支は赤字となっており、その赤字分を経常的収支の黒字分で補っていることがわかります。

最後までお読みいただきありがとうございました。
藤沢市の財政について、少しでもご理解いただければ幸いです。

財政課のホームページでは予算書などの資料を公開しています。
<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/zaisei/index.html>

また、お近くの市民センター・公民館、図書館などでも各種資料をご覧いただけます。



藤沢市財政課
ホームページ

ホームページで
ご覧ください

「藤沢市の借金時計」



? 「借金時計」って一体どんな時計?

自治体の借金残高が1秒単位にどう変わっていくのかをデジタル時計のように表示したものを「借金時計」といいます。

インターネットでは、「日本の借金時計」や「地方公共団体の借金時計」などを見ることができます。



藤沢市のホームページにて公開していますので、
みなさんぜひ一度ご覧ください!

藤沢市の市債（借金）の残高

2017 年 3 月 3 日 12 時 30 分 30 秒 現在

1353 億 407 万 3104 円 10 銭 です。

2種類の表示ができます。表示したい項目を選択してください。

全会計（一般会計+特別会計+企業会計） 一般会計

会計の種類は、家計の収支では以下のように例えることができます。

- 一般会計：生活費に使うお金
- 特別会計：教育資金など区別して使うお金
- 企業会計：生活費と切り離している商売のお金

一時間あたり、約 8 万 8281 円 減っていきます。

一秒あたり、約 25 円 減っていきます。

●借金時計のこまかい内訳 (PDF: 37KB)

●参考: 年度別市債借入・償還及び残高の状況 (一般会計) (PDF: 37KB)

アクセスは、[藤沢市ホームページ](#)>[市政情報](#)>[予算・財政](#)>[借金時計](#)>[藤沢市借金時計](#)

URLは<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/zaisei/shise/yosan/shakkindoke/shakkindoke.html>

または「藤沢市借金時計」をキーワードにして検索するとご覧になれます。

わかりやすい 藤沢市の財政2017

平成29年度予算と平成27年度決算のデータ使用により作成
2017年3月発行

発行/藤沢市財務部財政課

〒251-8601 藤沢市朝日町1-1

電話 0466-25-1111(代表) 内線2302

FAX 0466-50-8405

E-mail fj-zaisei@city.fujisawa.lg.jp

再生紙を使用しています

※各ページの表中の数値について、その積み上げと合計が一致しないところがあります。

ふじさわの
財政のこと、もっと
理解しなきゃ...

